

学会発表

(国内学会)

日本薬学会第127年会

2007年3月28日～30日 富山市

- (1) ニューロキニン1受容体拮抗作用を有するCP-728663の合成研究
池方康一郎、町支臣成、藤川亜依、渡邊司郎、棟近郁恵、吉田亜衣、延廣順子、
日比野俐
- (2) β -カルボリンアルカロイド・dichotomine類の合成研究
大村華菜、町支臣成、大山佳香、延廣順子、日比野俐
- (3) ベンゾフェナンスリジナルカロイドの合成研究
河野覚次郎、町支臣成、樋口智之、延廣順子、日比野俐
- (4) 水中におけるエピガロカテキンガレートおよびガロカテキンガレートとカフェインとの相互作用
石津 隆、梶谷真也、平田千賀子、山本英二
- (5) 屋久島産*Curcuma*属植物、ジャワ産*C. aeruginosa* 及び *C. zedoaria*の18S rDNA、*trnK*遺伝子配列、及び精油成分の比較
北村千浪、名越哲朗、マデ スリ プラナ、大橋一慶、澁谷博孝
- (6) 塩類下剤誘発下痢モデルマウスにおける五苓散の効果
海田朋美、菅 真弓、窪田二郎、丸山秀美、岡村信幸
- (7) センシドAの代謝におよぼす漢方薬主要成分の相互作用
小林剛士、曾根琴絵、大堂街子、岡村信幸
- (8) 福山大学薬学部における漢方教育への取り組み
竹村尚子、窪田二郎、田畑京子、脇本紫織、小林剛士、小林 宏、岡村信幸
- (9) 尿中カルノシンの高感度蛍光プレラベルHPLC分析に関する基礎的検討
丸山 潔、井上裕文、宗村小夜香、鶴田泰人
- (10) ロバスタチンによるリソソームタンパクの細胞外放出機構
戸田 憲、道原明宏、赤崎健司、辻 宏
- (11) リソソーム膜糖蛋白質 (lamp-1) リソソーム移行シグナル (Y-Q-T-I) のIの役割
末延道尚、道原明宏、赤崎健司、辻 宏
- (12) AlkylgallateによるP糖蛋白質活性の抑制に及ぼすガレート水酸基の影響
筒井祐介、岡田昌浩、町支臣成、日比野俐、寺尾和美、杉原成美、古野浩二
- (13) Caco-2細胞における5-ASAのN-アセチル抱合体の細胞膜透過に及ぼすフラボノイドの影響
吉村 真、寺尾和美、杉原成美、古野浩二
- (14) β -ナフトフラボン処理Caco-2細胞におけるベンゾ[a]ピレンの蓄積に及ぼすフラボノイドの影響
岡本達明、寺尾和美、杉原成美、古野浩二
- (15) HUVECにおけるolmesartanの抗酸化効果
門脇大介、安楽 誠、坂哉 萌、丸山 徹、小田切優樹

- (16) 尿毒症物質インドキシル硫酸による血中酸化ストレス誘導機序について
安楽 誠、下石和樹、田先由佳、丸山 徹、小田切優樹
- (17) 腎透析患者への鉄剤投与時の酸化ストレスにおけるヒト血清アルブミン³⁴Cysの役割
末永綾香、竹内耕治、安楽 誠、北村健一郎、丸山 徹、小田切優樹
- (18) 有機酸およびポリリン酸塩がキトサン直打錠の製剤特性に及ぼす影響
古谷暢子、開原善己、富田久夫
- (19) ドッキングシミュレーションによるGABA_A受容体-ベンゾジアゼピン結合部位の立体構造の検討
壽 佑樹、秦 季之、馬場瑛子、小野行雄
- (20) パルプロ酸と飲食物の相互作用 ―レモン果汁について―
安田愛美、安岡美貴、守安 彩、舟田有里、片山博和
- (21) ワルファリンとビタミンK含有飲食物との相互作用
守安 彩、叶 有貴、高田麻衣、舟田有里、片山博和
- (22) 散剤後発品の品質評価～抗てんかん薬～
中山やちよ、楯原康仁、松尾美果、北村公一、五郎丸剛、一木孝治^{a)}、
高橋浩二郎^{a)}、江藤精二
a) 産業医大病院薬
- (23) ケージドDNAによる効率的C4' 酸化脱塩基部位の生成とその反応性
臼井一晃、麻生真理子、渡口由希子、柿原良枝、五郎丸毅、末宗 洋

第68回分析化学討論会

2007年5月19日～20日 宇都宮市

- (1) 生理活性アミン類の高感度蛍光プレラベルHPLC分析に関する基礎的検討
平山香織、井上裕文、宗村小夜香、鶴田泰人

第15回ダニと疾患のインターフェースに関するセミナー綾の照葉樹大会

2007年5月25日～27日 宮崎

- (1) ヒゼンダニ*Sarcoptes scabiei*のミトコンドリア遺伝子による比較
三谷春美、湯浅伸輔、高橋健一、高橋 守、福長将仁

第23回日本DDS年会

2007年6月15日 熊本

- (1) ポリビニルアルコールを利用したパクリタキセル高分子治療剤の合成と評価
柿木充史、細川宜嗣、吉川智美、原 貫二、渡辺恵利華、田中哲郎、金尾義治

第14回肝細胞研究会

2007年6月22日～23日 鹿児島市

- (1) 初代培養ラット肝細胞系における肝性リパーゼの挙動に対するプラゾシンの効果
中村徹也、螻川内理恵、森田哲生

日本分析化学会 第56年会

2007年9月19日～21日 徳島市

- (1) 血清中パロキセチンの高感度蛍光プレラベルHPLC分析に関する検討
原田卓也、古謝景子、井上裕文、江藤精二、鶴田泰人

第70回九州山口薬学大会

2007年9月23日～24日 熊本市

- (1) 処方せん疑義照会の問題点－ニューキノロン系抗菌剤と耐性乳酸菌製剤の併用について－
藤井利加、五郎丸剛、福長将仁、一木孝治^{a)}、牛尾敏彦^{a)}、高橋浩二郎^{a)}、
江藤精二
a) 産業医大病院薬
- (2) 調剤精度に着目した散剤の後発医薬品の品質評価
妹尾啓司、松浦 縁、五郎丸剛、一木孝治^{a)}、日高博司^{a)}、牛尾敏彦^{a)}、
高橋浩二郎^{a)}、江藤精二
a) 産業医大病院薬
- (3) 乳がん化学療法レジメンにおける施設間差
福場夕起、五郎丸剛、大塚識稔^{a)}、原景子^{a)}、一木孝治^{b)}、篠原義剛^{b)}、
高橋浩二郎^{b)}、江藤精二
a) 中国中央病院薬、b) 産業医大病院薬
- (4) パクリタキセル誘発性末梢神経障害へのサブスタンスPの関与
山下みゆき、五郎丸剛、一木孝治^{a)}、篠原義剛^{a)}、高橋浩二郎^{a)}、江藤精二
a) 産業医大病院薬

第17回日本医療薬学会年会

2007年9月29日～30日 前橋市

- (1) キノロン系抗菌剤過敏症の検討
阿部 学^{a)}、八木元広^{b)}、宇野勝次
a) 共栄堂まのはら薬局、b) 水原郷病院薬剤科、福山大学薬学部
- (2) 総合感冒薬過敏症の検討
古川智康^{a)}、八木元広^{a)}、阿部 学^{b)}、齊藤幹央^{b)}、小池由博^{c)}、宇野勝次
a) 水原郷病院薬剤科、b) 共栄堂薬局、c) 豊浦病院薬剤部、福山大学薬学部
- (3) 酵素製剤における過敏症の検討
齊藤幹央^{a)}、古川智康^{b)}、八木元広^{b)}、宇野勝次
a) 共栄堂しばたセンター薬局、b) 水原郷病院薬剤科、福山大学薬学部
- (4) 後発品による代替調剤の現状
杉山康浩^{a)}、宮下しずか^{a)}、宇野勝次
a) おおた薬局、福山大学薬学部

(5) ドラッグセフティマネジメント業務としての疑義照会の検討

渡部陽子^{a)}、宇野勝次

a) いがた調剤薬局、福山大学薬学部

第66回日本癌学会学術総会

2007年10月3日～5日 横浜市

(1) ウロテンシン2によるエールリッヒ癌細胞からのリポ蛋白質リパーゼの分泌

虻川内理恵、森田哲生

第40回日本薬剤師会学術大会

2007年10月7日～8日 神戸市

(1) 薬剤師に求められる漢方教育を目指して

—福山大学における12年間の取り組みと今後の展望—

小林 宏、海田朋美、小林剛士、吉田光邦、竹村尚子、岡村信幸

(2) アイオワ州におけるファーマシークリニックの取り組みから考察する新たな薬局機能と薬剤師の役割

杉原成美、中谷吏菜、川本嘉子^{a)}、林 直子^{a)}、菅家甫子^{a)}

a) 共立薬科大学

(3) 地域住民の生活習慣病の予防と進展防止に対する薬局の役割と薬剤師の意識に関する調査

金光瑞恵^{a)}、横田いつ子^{a)}、田辺ナオ^{a)}、中 寿美^{a)}、恵谷展幸^{a)}、串田慎也^{a)}、

山岡紀子^{a)}、杉原成美、中谷吏菜、山本禎子、菅家甫子^{b)}

a) 尾道市薬剤師会、b) 共立薬科大学

第60回日本細菌学会中国・四国支部総会

2007年10月13日～14日 岡山

(1) 宿主体温での回帰熱ボレリア*Borrelia duttonii*の特異的遺伝子発現

豊田栄司、田淵紀彦、三谷春美、福長将仁

第37回複素環化学討論会

2007年10月17日～19日 長野市

(1) 抗アレルギー作用を有するβ-カルボリンアルカロイドdichotomine類の合成研究

大村華菜、延廣順子、佐藤祐介、町支臣成、日比野俐

第57回日本アレルギー学会秋季学術大会

2007年11月1日～3日 横浜市

- (1) 薬物アレルギーの加齢と性差による変化
宇野勝次

第33回反応と合成の進歩シンポジウム

2007年11月5日～6日 長崎市

- (1) 多くの生理活性を有するベンゾフェナンスリジンの合成研究
河野覚次郎、町支臣成、藤井かおり、延廣順子、日比野俐

第46回日本薬学会・日本薬剤師会・日本病院薬剤師会中国四国支部学術大会

2007年11月10日～11日 高知市

- (1) β -カルボリンアルカロイド・dichotomine類の合成研究
大村華菜、町支臣成、佐藤祐介、大山佳香、延廣順子、日比野俐
- (2) β -テトラロンの新規合成法の確立とベンゾフェナンスリジンアルカロイドへの応用
河野覚次郎、延廣順子、藤井かおり、町支臣成、日比野俐
- (3) 緑茶に含まれる(-)-Epigallocatechin gallateとCaffeineとの相互作用の解明
石津 隆、梶谷真也、堤 広之、山本英二
- (4) 胆汁酸産生能を有する*Penicillium*属真菌
大橋一慶、宮川義敬、中村佑基、澁谷博孝
- (5) アルギニンによるマウス乳癌FM3A細胞の成長に対する細胞内サイクリックAMP準位の関与
高田真希、木下千恵美、虻川内理恵、森田哲生
- (6) 脂肪細胞からのリポ蛋白質リパーゼの分泌に対する糖鎖形成の関与
三上徹也、奥田恵理子、木下千恵美、虻川内理恵、辻 宏、森田哲生
- (7) フラボノイドによる核内レセプターRORaの活性調節
三木尚樹、岡田麻由、倉本大輔、松井隆司
- (8) 4,5-ジメトキシフタルアルデヒドを用いるサルファ剤の蛍光分析法に関する基礎的検討
武良卓哉、古謝景子、井上裕文、鶴田泰人
- (9) ロバスタチンによるメラノソーム放出作用
森田祥代、戸田 憲、道原明宏、赤崎健司、辻 宏
- (10) 低分子キトサンの抗酸化作用について
安楽 誠、樺島三樹絵、苗村ひとみ、古谷暢子、丸山 徹、小田切優樹、冨田久夫
- (11) バルプロ酸の体内動態に及ぼす飲食物の影響
安田愛美、安岡美貴、神代幸子、中村光宏、水上皓喜、峯駒美子、波多江智美、野口賀代、片山博和
- (12) 高度分岐環状デキストランの体内動態研究—生分解性高分子担体としての利用性—
田口恭子、岡崎 崇、山田義嗣、丸山正義、田中哲郎、金尾義治

- (13) 疎水性高分子のナノ粒子形成による難溶性薬物の可溶化
西口晶子、山本繁史、山本愛理、廣瀬寛子、鶴田千博、野崎美紀、田口恭子、
岡崎 崇、山田義嗣、丸山正義、田中哲郎、金尾義治
- (14) 東広島地区がん化学療法研究会の取組み ～PBLを基本とした症例検討～
丹波悠美子^{a)}、岡田博恵^{a)}、野村雅代^{b)}、吉川智美^{c)}、中村和江^{c)}、細川宣嗣^{d)}、
金尾淳子^{d)}、大塚識稔^{e)}、原 景子^{e)}、五郎丸剛、江藤精二
a)小島病院薬、b)井上クリニック薬、c)楠本病院薬、d)福山第一病院薬、
e)中国中央病院薬
- (15) 塩酸サルボグレラート経口投与による神経因性疼痛発症抑制作用
藤井洋光、土谷大樹、田中佑季、廣田恭子、森本綾華、西尾廣昭

第30回日本分子生物学会年会・第80回日本生化学会大会合同大会

2007年12月11日～15日 横浜市

- (1) 初代培養ラット肝細胞系におけるヘパリンによる肝性リパーゼの放出
ー高・低分子量ヘパリンの比較ー
川添 彩、螻川内理恵、森田哲生
- (2) 血管内皮細胞での核内レセプターRORa遺伝子発現に及ぼす単球の影響
徳本響子、二井偉暢、三木尚樹、松井隆司
- (3) 核内レセプターRORa遺伝子の発現および活性に及ぼすフラボノイドの影響
三木尚樹、岡田麻由、倉本大輔、松井隆司

(国際学会)

3rd Pharmaceutical Sciences World Congress (PSWC2007)

April 22~25, 2007 Amsterdam, The Netherlands

- (1) An oral adsorbent, AST-120 protects against the progression of oxidative stress by reducing the accumulation of indoxyl sulfate in the systemic circulation in renal failure.

Makoto Anraku, Kazuki Shimoishi ^{a)}, Yuka Tasaki ^{a)}, Toru Maruyama ^{a)} and Masaki Otagiri ^{a)}

a) Kumamoto University

- (2) Intracellular Disposition of Polysaccharides in Hepatoma Cells

Tetsuro Tanaka, Yasuo Abo, Hanako Asano, Daisuke Kurokawa, Kyoko Taguchi and Yoshiharu Kaneo

13TH International Conference on Human Retrovirology “HTLV and RELATED VIRUSES”

May 22~25, 2007 Hakone, Japan

- (1) Epitopes of Anti-197 Antibody may Correlate to the Onset of HTLV-1-Associated Diseases.

Eijiro Kojima, Yasuko Sagara ^{a)}, Yukiko Inoue ^{a)}, Yasuhiro Sagara ^{b)} and Seizaburo Kashiwagi ^{a)}

a) Department of Research, Fukuoka Red Cross Blood Center, Fukuoka, Japan

b) Department of Human Development, Nakamura Gakuen University, Fukuoka, Japan

International Symposium on Advances in Synthetic and Medicinal Chemistry

August 27~31, 2007 St. Petersburg, Russia

- (1) Syntheses of 5- and 6-methylindole-4,7-quinones, and antitumor activities of their related indolequinones

Junko Nobuhiro, Maho Hirayama, Tominari Choshi, Keiichi Kamoshita, ^{a)} Sakiko Maruyama, ^{b)} Yoshikazu Sukenaga,* Takashi Ishizu, Haruto Fujioka, and Satoshi Hibino

a) Niigata University of Pharmacy and Applied Life Sciences,

b) Drug Research department, Division of Research & Development, Nippon Kayaku Co. Ltd.

- (2) A biomimetic synthesis of the anti-tumor and anti-malarial indolo [3,2-*j*] phenanthridine alkaloid, calothrixin B

Satoshi Hibino, Akira Yamabuki, Hikohito Fujinawa, Tominari Choshi, Shigeo Tohyama, Kohji Matsumoto, Kana Ohmura, and Junko Nobuhiro

Annual Meeting of American Society of Anesthesiologists.

October 13~17, 2007 San Francisco, USA

- (1) *Effect of neutrophil elastase inhibitor on macrophage activation in acute respiratory distress syndrome in humans.*

Koichirou Kitahara^{a)}, Yasuyuki Kakihara^{a)}, Hiroe Nakazawa^{a)}, Tsuyoshi Goromaru, Yuichi Kanmura^{a)}

a) Intensive Care Medicine, Kagoshima University Hospital

The 4th Joint Meeting of the Society for Free Radical Research Australasia. and Japan.

Dec 2~5, 2007 Kyoto, Japan

- (1) Effect of low molecular weight chitosan supplement on oxidative stress in normal subjects

Makoto Anraku, Mikie Kabashima, Hitomi Namura, Daisuke Kadowaki^{a)}, Toru Maruyama^{a)}, Masaki Otagiri^{a)}, Janusz M. Gebicki^{b)}, Nobuko Furutani, and Hisao Tomida

a) Kumamoto University

b) Macquarie University